

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-5

部門名：カリキュラム・マネジメント 実践部門	エントリー名：岡山県立岡山西支援学校 川上啓子 平成 29 年度食育指導者研修
活動名：チーム学校で取り組む食育 ～食育推進の PDCA サイクルを導入～	
解決すべき課題： 本校には、食育を推進する「食の教育係」があり、食に関する全体計画、年間指導計画を作成しているが、年度初め担任が変わると指導方針が変わり、児童生徒の学習の積み重ねができていない状況がある。 (課題の背景) 教職員間・学部間で食に関する指導に対する温度差が見られる。 (仮説) 教職員によって指導や評価の優先順位が異なり、食に関する指導が後回しになっているのではないかと考えた。 → 教職員全員で評価のあり方（児童生徒の適確な把握とそれに基づいた目標設定による評価の仕方）を共有し、目標を明確にする必要がある。研修成果を活用し、食育推進の PDCA サイクルの導入が有効であると考えた。	
目標・方針： (目標) ①教職員間で評価のあり方を共有し、連携する。②指導目標を明確にして、食育に取り組む。 (方針) 食育推進の PDCA サイクルを導入する。	
課題 【児童生徒】学習の積み重ねができていない。 【教職員】連携がとれていない。 P:計画 D:実践 C:評価 A:改善 チーム学校 改善 【児童生徒】学習の積み重ねができています。 【教職員】連携がとれている。	
活動内容： 食育推進の PDCA サイクルの導入について職員会議で提案。〈図 1〉 Ⅰ 実態把握：食に関する指導の到達目標の達成について、教職員を対象にアンケートを行う。 Ⅱ 計画：①アンケート結果から重点課題と指標を設定する。②全体計画、年間指導計画を作成する。 Ⅲ 実施：年間指導計画にしたがって食に関する指導を行う。 保護者を対象とした講話を行う。(H30.10)給食委員会活動で食育について発表を行う。 Ⅳ 評価：教職員を対象に、中間評価(H30.9)、最終評価を行う。(H31.2) Ⅴ 改善：食の教育係によって改善点の洗い出し、次年度の指標設定の見直しや計画の改善を行う。	
活動の成果： 食育の評価（最終） ○活動指標のアンケート結果〈図 2〉 「できなかった」と回答した教職員はいなかった。教職員全員が何らかのかたちで連携し、食に関する指導ができた。 ○成果指標のアンケート結果〈図 3〉 全学部で成果指標の目標値を達成した。成果指標の項目について、児童生徒の学習の積み重ねができた。 ○教職員の声 ・食育推進の PDCA サイクルを導入したことで、個人だけでなくクラスとしてどのような指導をしなければならないかが明確になり、良かった。 ・栄養教諭が指導資料を配付したことで、指導内容が明確になり、とても指導がしやすかった。〈写真 1〉	
アピールポイント（アイデアや工夫）： 1 実態把握のアンケートでは、評価基準を設けたことで評価のばらつきを軽減した。 2 食に関する指導の重点課題や指標の設定を行ったことで、同じ方針で指導がしやすくなった。〈図 3〉 3 9 月に中間評価をすることで、教職員の意識を継続して高めることができた。〈図 4〉	

図 1：食育推進の PDCA

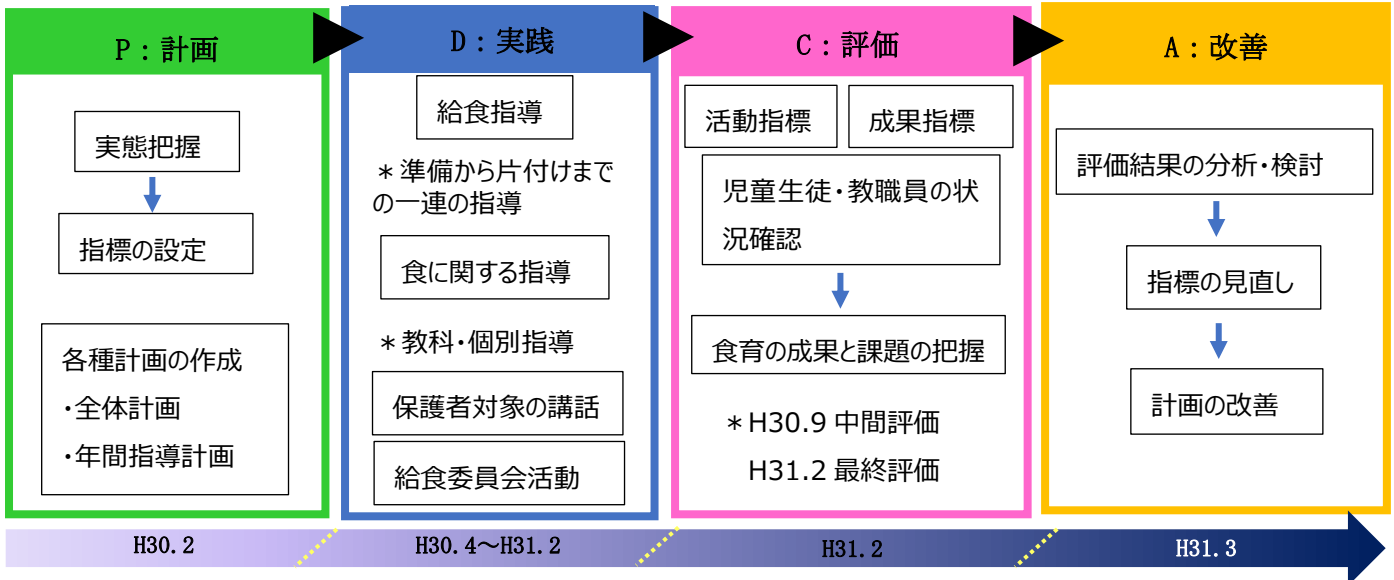


図 2：活動指標のアンケート結果

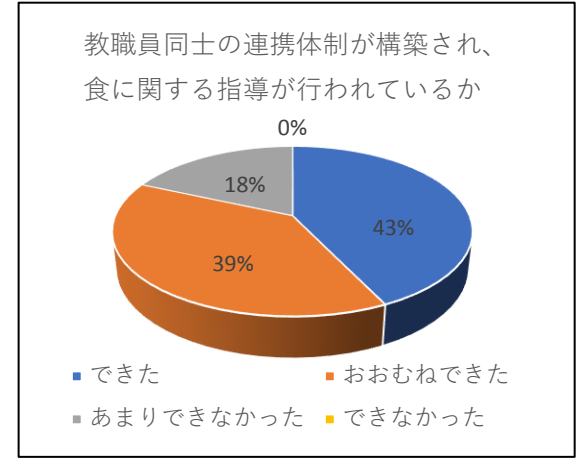


図 3：成果指標のアンケート結果

成果指標		H30年度 目標値	H30年度 実績値
小学部重点 課題の割合	食事のマナーを意識し、食事をするこ について個々が改善した割合	74%	92%
中学部重点 課題の割合	栄養バランスのよい食事の理解につい て個々の習熟度が高まった割合	72%	84%
高等部重点 課題の割合	食事のマナーを守り、食事をするこ について個々が改善した割合	72%	91%

写真 1：指導の様子



図 4：成果指標の実績値の変化

